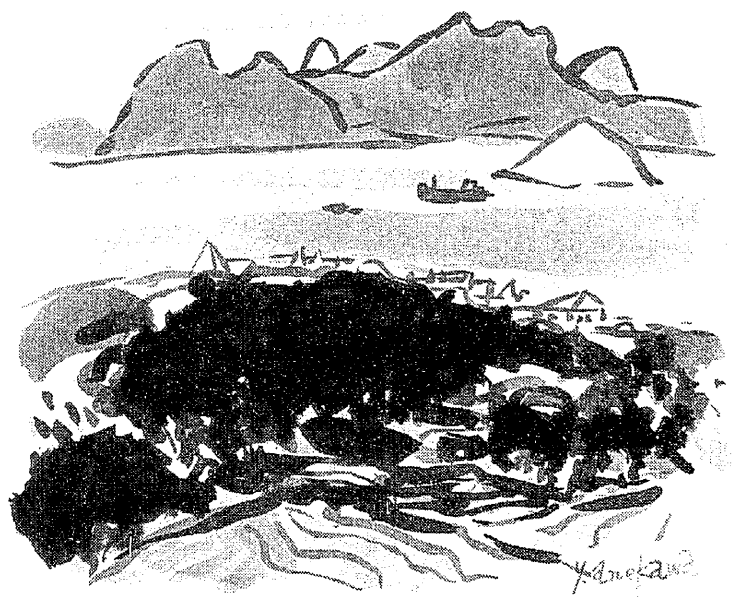
海と船と港



高浜港（愛媛県松山市）は、阪神～別府航路のほか、広島、柳井へのフェリーが発着する。

瀬戸内海

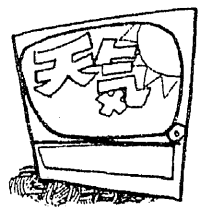
画　姉川良男

7月のこよみ

○…文月（ふみづき）。1日京都三大祭りの一つ祇園祭が七月一杯続きます。16日の宵山と17日の山鉾巡行が圧巻です。2日半夏生。夏至から十一日目に当たる日で、梅雨が明け田植えの終期とされ、この日から各地の神社で夏祭りが始まり、6日は衆参議院同日選挙投票日、7日七夕、9日東京・浅草寺のほおずき市、10日北九州・小倉祇園太鼓、26日東京・隅田川花火大会などの夏の風物詩も繰り広げられます。15日お盆。仏を迎え、僧侶に読経してもらい、送り火をたいて冥界（めいかい）に送る儀式も都会ばかりか、地方でもめったに見られません。20日海の日。24日土用の丑。夏バテ防止に鰻を食べる慣習は、江戸時代に平賀源内が薬になると言ったとの説があります。

○…夏といえばビール。ビールといえばビヤガーデン。最近は女性の姿がめっきり多くなりました。「ビールほろ苦し女傑となりきれず」（桂　信子）。

○…気温は平年並みですが寒暖の変動が大きく、局地的な大雨、梅雨晴れ後もぐずついた天気になると予想されています。



大型間接税導入されたら　25万円の大増税

自民党に総攻撃を

東京国際大学教授　名東孝二

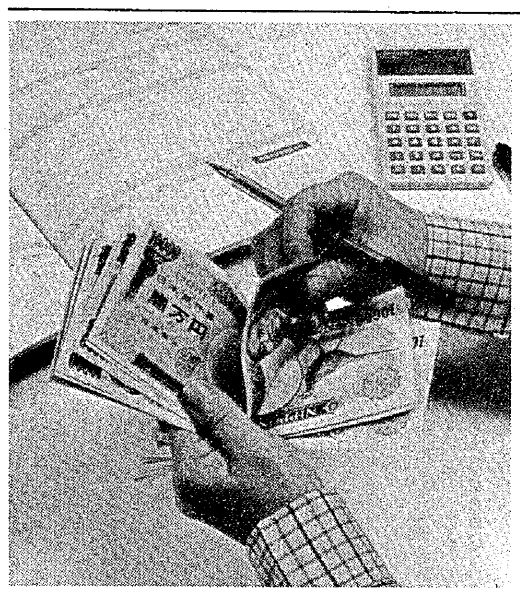
自民党は大型間接税を秋から検討し、来年度から導入しようということでしょう。今は選挙で、それを持ち出せば勝てないので、黙りこんで逃げているわけです。野党は、尻ごみする自民党を引きずり出し、間接税とマル優の問題を争点にすえて積極的にやるべきです。

私の計算では、六十二年度から五%の税率で大型間接税を導入すれば、総額六兆六千億円、一世帯あたり二十五万円もの増税になります。所得税減税を二兆円、中小企業減税六千億円をやっても、はるかに増税の方が多い。

しかも課税最低限二百三十五万円以下の低所得層には減税の効果は及ばず、増税だけ負わされるというみじめな目にあうわけです。

そうなれば消費は落ちこみ、景気の足をますます引っぱるでしょう。

ただでさえ、来年から景気が落ちこむと予想されている時に間接税を導入すれば、最悪の場合、日本経済はパニック状態になります。これは日本の運命を分ける問題だと私は思います。野党は、「間接税導入は考え方としては当たり前」という藤尾政調会長のホンネ発言を言質として自民党に総攻撃をかける以外ないでしょう。（談）



〝虎の子〟もがっぽりとられてしまう

人間らしい生活を

東ブロック　川野　ヨシ子

先日、国鉄の分割・民営化について国鉄労働者と家族の反対闘争の実態と、一般市民の声をテレビで見ました。

ローカル線を廃止させない運動と首切り反対闘争が、家族ぐるみで取り組まれていましたが、民営化することは、私たちが炭鉱を国有化する要求と逆行することだと思います。首切りや配転など、労働者と家族や住民の犠牲を押しつけてまで民営化をすることには、労働者として絶対反対です。一般市民の声ということでマイクが向けられ、ほとんどの人は「やってみてもよい」ということでしたが、自分の職場がなくなり生活が困る立場になったことを考えたことがあるのだろうかと思いました。

専売公社や電報局などが民営化されて、合理化はいちだんときびしくなったと聞きます。炭鉱も今年の春闘は第八次石炭政策の答申が出てからということになりました。報道などでは出炭約一、七〇〇万トンを一、〇〇〇万トンに減らし、十年後には国内の炭鉱はすべて閉山にするといわれますが、労働者を無視した金儲けだけを考えるやり方で、住民までも犠牲にする合理化だと思います。

外国では、石炭は輸出するほど出しているのに、日本は外国の石炭を買い、そのために労働者を首切り、生活が奪われるのだと思いますが、市民の声のように自分の生活だけを考え、他のことに目が向かないようにされているのではないでしょうか。

今回の衆参議院の同日選挙も、解散するとか、しないとか、政治が私たちの生活を離れてあるようにマスコミも宣伝しています。物価を上げるのは政府・自民党の勝手、合理化で首切り、賃上げストップも資本家の勝手、軍事費だけが増えています。生活がますます苦しくなり、主人たちの職場での労働強化と同時に、人間らしい生活ができないようになっています。健康が破壊されても十分治療できず働かなければならないし、命を縮めながらの生活です。

人間らしい生活をする上で不安がいっぱいですが、個人では解決できないのが現在の状況です。今回の同日選挙では、苦しい私たちの生活を少しでも良くするために、どうしても私たちの代表を多く送り出し、資本家や自民党の思うままの政治に歯止めをかけたいと思います。

自分たちの手で　高齢者専用のマンションを

国の福祉政策の貧困から、業者による有料老人ホームの建設が盛んですが、営利を目的としているため、入居金も割高となり、入居後もトラブルが生じることも多いようです。

こんなところに問題点が

① 営利目的か非営利か。
② 無理のない負担かどうか。
③ 快適な生活環境か。
④ 生きがい対策が生かされているか。
⑤ 健康管理は十分か。
⑥ 運営は民主的か。
などです。

構想の概要

このたびの発想は、いよいよ高齢者が増加していく時代に対応して、生きがい対策、ボケ防止、健康保持・増進に高齢者一同が力をあわせ、知恵を出し合い、真の高齢者のためのホームの建設をすることにあります。

① 福祉優先主義で営利を目的としません。だから入居料も洗面所・バス・トイレ付きで
。単身者用（七・三坪）六六〇万円程度。
。夫婦用（一〇坪前後）八七〇万円程度。
入居後の経費（一人当たり）は、
。A案
食費三万円、諸経費四万五千円、計七万五千円。
。B案
食費三万円、諸経費三万円、計六万円。

② 快適な生活環境づくりに重点を置き、
。全館冷暖房とします。
。坪数の範囲内で洋間、日本とします。
。各部屋は入居者の所有とし、部屋以外、建物の共用部分と土地は入居者全員の所有となります。

③ 生きがい対策を配慮し、
。工作室を設置し、希望者には技術指導を行ない、工芸品、工作物を製作し、商品化されるものは販売し、代金は製作者に支払います。
。付近の農地で菜園、または園芸などができるようにします。

④ 健康管理に留意し、
。嘱託医をおき、定期検診を行ない、発病の予防・早期発見に努めます。
。健康保持、増進のため、各種運動用機器を設置します。

⑤ 民主的に運営するために、
。定款・入居者規則などは入居者全員で決定します。
但し、提案・助言をします。
。経営内容は定期的に入居者全員に明らかにします。

発起人
福岡県議会議員
長谷川為美さん
元・三池労組組合長
古賀　春吉さん

〈備考〉入居者希望者、及び検討してみたい方の受け付けをいたしますので、お申し込みは発起人の古賀までハガキ、または電話を下さい。

大牟田市歴木一八〇七―五六四
電話（大牟田）五七―三七四四
古賀　春吉

大型間接税

所得税、法人税などの直接税と異なり、物品が流通するあらゆる段階で、その行為のすべてに対して税を負担させる制度。酒税、たばこ消費税などのように限定しないため、課税対象が極端に広くなるという特徴があります。その種類は、蔵出し税、EC型付加価値税、小売売上税、一般消費税、卸売売上税などさまざまです。大蔵省の試算では、税率五%で四、五兆円の増税になるといわれ、低所得者も高所得者もおしなべて同額の租税負担を強制されることになる最悪の大衆課税といわれます。